財団法人栃木県国際交流協会
Tochigi International Association

TIAニュース

# やあ!

1995 NOVEMBER No.40 11

市町村文化財紹介
佐野市

## 木造エラスムス立像

佐野市上羽田町の竜江院にある高さ121cmの木造エラスムス立像は、1600年、太平洋上で暴風雨にあい大分県佐伯湾岸に漂着したオランダ船リーフデ号（元「エラスムス号」を改名）の船尾に取り付けられていたものである。この船には徳川家康の外交顧問になったウイリアム・アダムス（三浦安針）も乗船していた。

この像が竜江院に伝来した理由は、当時幕府の旗本牧野成里の手に渡り、知行地羽田村の菩提寺竜江院に、牧野家ゆかりの品々と共に寄進されたためである。

昭和5年の調査でこの像が有名なオランダの啓蒙思想家エラスムス(1467～1536年)であることがわかり、オランダからの譲渡の希望を断って国宝に指定された。オランダ最古の木彫である。

This 121cm wooden statue of Erasmus is located in the Ryukoin temple in Sano city's Kamihaneda district. The statue was hidden in the stern of the Dutch ship Rifude (formerly The Erasmus) which washed ashore on the Pacific coast of Oita Prefecture in the year 1600. Also aboard this ship was William Adams (known to the Japanese as Miura Anjin) who became the diplomatic advisor to the Shogun Tokugawa Ieyasu.

The statue has been handed down to the Ryukoin temple because it passed into the hands of Shogun vassal Makino Shigesato, and it was donated to his family temple of Haneda village in Makino's domain along with the Makino family treasures.

An audit of the temple's artifacts in 1930 revealed that the statue was that of the famous enlightened Dutch thinker Erasmus. The Netherlands expressed a wish to have the statue returned but Japan declared it a national treasure.

It is the oldest known Dutch wooden statue.

特集

## 海外旅行・滞在で注意すること

—外国でトラブルに巻き込まれないために—

◇トピックス　国民文化祭・とちぎ95国祭交流イベントルポ
仏国ヴォークリューズ県から高校生と大学生が来県
USジャパンエキスポ'95ルポ
◇国際交流団体紹介　国際交流たみの会
◇あんな店こんな店　ブラジル商品販売店「プロジェクト・ブラジル」

# JETコーナー

## 外国語指導助手
## ロバート・アンダーソンさん
## （26歳・アメリカ出身）

僕の名前はロバート アンダーソンです。JETプログラムに参加して２年目です。宇都宮清陵高校のALTですが、毎週木曜日には白楊高校を訪問します。

僕はアメリカのコネチカット州ミスチックから来ました。コネチカット州はアメリカの北東部に位置し、気候は栃木県と似ていますが、梅雨はありません。僕の町はニューヨーク市とボストンの間の海岸沿いにあります。その町から両方の都市へは車で２時間です。ミスチックは歴史もあり静かな町で、おいしいシーフードが食べられる観光地です。

学校で書道や合気道を楽しんでいます。合気道は数年前にフランスではじめ、アメリカで続けていました。合気道は「なめらか」な自己防衛のみの武道なので、僕はとても好きです。それにとても精神的で、自然による力を基礎とした動きをします。合気道の発祥地日本で学ぶことができて大変幸せです。

日本では毎日がチャレンジです。日本語の勉強はとても楽しく感じますが、時にはイライラすることもあります。みんな親切にしてくれているので、日本の生活は快適です。短い日本滞在ではありますが、アメリカと日本の更なる相互理解に貢献できればと思っています。

My name is Robert Anderson and this is my second year on the JET Program. I am an Assistant English Teacher at Utsunomiya Seiryo High School , and I visit Hakuyo High School in Utsunomiya every Thursday .

I come from Mystic , Connecticut in the United States of America . Connecticut is in the northeast of the United States and the climate is similar to Tochigi - ken except that there is no rainy season during the spring . My town is located on the coast between New York City and Boston . Both cities are a two hour drive by car from Mystic . Mystic is a popular tourist destination because it is a historic , quiet town famous for delicious seafood.

I enjoy studying shodo at my school . I am also studying Aikido . I first started practicing Aikido in France a few years ago and then continued in the United States .I like Aikido because it is a “soft ,” purely self - defensive martial art . It is also very spiritual and its motions are based on the forces found in nature . I am happy to be finally studying Aikido in the country of its origin .

I find that everyday is a challenge in Japan . Learning Japanese is a lot fun , but sometimes frustrating . I have felt very comfortable in Japan because everyone has been very kind to me . I hope that in my short stay in Japan I can contribute to a greater mutual understanding between the United States and Japan .

---

# U.S. - JAPAN EXPO’95 REPORT

今年で16回目を迎えるジャパンエキスポ。日米文化の親善交流の架け橋になることを目的として毎年ロサンゼルスで開催されています。今回、現地ロサンゼルスにある南加（南カリフォルニア）栃木県人会からの出展要請を受けて、栃木県から７名が参加しました。日本からは本県のほか、北海道、青森県田子町、埼玉県、長野県、民間企業１社がブース出展し、また、伝統工芸展のコーナーに日本全国からの伝統工芸職人が13名、大正琴のグループが約20名、日本相撲協会などからも相撲実演メンバーが派遣されていたようです。

▶ふくべ細工に挑戦する来場者

栃木県ブースでは物産販売と県の伝統工芸の実演及び無料製作体験を行いました。物産の販売ではたまり漬けが好評を博し、とりわけ、らっきょうに人気が集中！漬物を買うのは圧倒的に日系人の主婦の方々が多かったのですが、ラッキョウ漬けは日系以外の人達の口にも合うらしく、「ラッキョウ漬けだけの詰め合わせはないのか？」と何度も聞かれました。一方の県伝統工芸、武者絵・ふくべ細工・日光彫りも大好評で、実演中はずっと来場者に取り囲まれ、特に武者絵は地元日本語テレビ局の取材を受け、ニュースで取り上げられました。また、ふくべ細工、日光彫りの無料製作体験では子供も大人も熱心に作業に取り組み、制限時間が過ぎてもなお、作業を続ける来場者の姿が多く見られました。今回の出展では、現地南加栃木県人会の方々がボランティアとしてご協力くださり、３日間のボランティア動員数は延べ25人。出展ブースには、常時５人から８人の県人会員の方々が、こちらから持参したハッピを着るなどして、物産販売や通訳として大活躍してくださいました。県人会の方々のおかげで、ブース周辺に活気が生まれ、来場者の方々も足を止めやすかったのではないかと思います。また場所的にも時間的にも食事を取ることが難しいことから、手作りの差し入れをして下さる方々も多くいらっしゃいました。

◀好評を博した栃木県コーナー

それにしても、例年、11月下旬の感謝祭の連休時期（この時期はクリスマス用の買い物客で大にぎわいだそうです）に開催しているものを、今年は１か月以上早い10月中旬に行ったため、客足が鈍かったとのことです。とはいえ、３日間の総入場者数は６万５千人。来場者の年齢層も幅広く、子供からお年寄りまでが楽しめるイベントだったようです。（文：総務企画課・高嶋）

# トピックス TOPICS

## フランス・ヴォークリューズ県から高校生と大学生が来県

フランス・ヴォークリューズ県の高校生4名と食品産業高等専門学校“ISEMA”の大学生2名が今年も来県した。

高校生は同県カルパントラ市のファーブル高校からシャルロット、マリー、ニコラの3名、そしてオランジュ市のアルク高校からクリステルの計4名で、引率者のヴォークリューズ県議会教育文化部スポーツ担当のドミニク氏とともに10月16日～10月28日の日程で訪れた。

▶氏家高校で陶芸の授業を受ける仏高校生

◀副知事表敬訪問。右からクリステル、シャルロット、ニコラ、ドミニク氏、大江副知事、フィリップ、クレール、マリー

今年は栃木県立氏家高等学校が高校生受入れに協力。同校は県内で唯一、英語の他にフランス語、ドイツ語等の授業が選択できるなど他の県立高校とは少し変わった授業選択制度を設け、生徒たちに日本や外国の文化等を習得させている。4名の仏高校生たちは、陶芸、柔道・剣道、日本史、日本の伝統文化、製菓実習、書道、フランス語等様々な授業に参加した。また、同校生徒と氏家町ロータリークラブ会員の家にホームステイし、日本の家庭生活をホストファミリーとともに楽しんだ。

その他足利、日光、東京を視察したり、第10回国民文化祭のオープニングパレードに参加し、日本滞在の思い出をたくさん胸に納め帰国した。

一方、“ISEMA”の大学生、クレールとフィリップの2名は、10月20日～22日に開催された「ふるさとマロニエフェアー」のヴォークリューズ県コーナーで、地元のワインを紹介した。また、東京のフランス大使館で、ワイン業者を集めてプレゼンテーションを行い、ヴォークリューズワインをPRした。

◀ふるさとマロニエフェアーでワインを紹介する大学生

## 第10回国民文化祭でフランス民族舞踊団、中国雑技団（サーカス）等が公演

10月27日㈮～11月5日㈰に「第10回国民文化祭・とちぎ95」が開催され、栃木県と友好交流を行っているフランス・ヴォークリューズ県から民族舞踊団「フルー・ドゥ・ロズ」が、また中国浙江省から「浙江雑技芸術団」が来県した。

▶オープニングパレードに参加し、沿道の観衆から拍手をうける（宇都宮市大通り）

「フルー・ドゥ・ロズ」の舞踊は南仏プロヴァンス地方の民族性を表した武装舞踊で、ダンス・歌・音楽・劇が盛り込まれている。一方、「浙江雑技芸術団」は、一輪車碗のせ、階段倒立、足技、敦煌軟体美人等の中国サーカス団である。両者とも、オープニングパレードやオープニングフェスティバルに参加し演技を披露した他、「フルー・ドゥ・ロズ」は益子町と真岡市で、「浙江雑技芸術団」は壬生町で公演し好評を博した。

その他、シンガポールから中国伝統音楽の「シンガポール・チャイニーズ・オーケストラ」、ブラジルからサンバやボサノバの「ニルゼ・カルバーリョとバッカーナバンド」、タイから民族舞踊・民族楽器を演じる「タイ王立チットラダースクール」、香港からヴァイオリニストのフェリックス・サムなども参加し、黒磯市、足利市、宇都宮市他の各会場で、独特の音楽を披露し聴衆を魅了した。

▲前夜祭で披露された浙江雑技芸術団の敦煌軟体美人演技

▲益子町で行った「フルー・ドゥ・ロズ」による剣のダンス

# 特　集

# 海外旅行・滞在で注意すること

▲成田空港出国ロビー

## ～外国でトラブルに巻き込まれないために～

海外を訪れる日本人が増加している昨今、外国滞在中に様々なトラブルに巻き込まれるケースも増えてきている。被害に遭わないためにはどうしたらよいのか？　今回は、どんな事件・事故が起こっているのか、またどんなことに注意したらよいのかについて特集する。

### 1,300万人を越える海外渡航者

平成６年度の日本人海外渡航者は1,350万人。栃木県からは16万５千人が渡航している。10年前の海外渡航者総数は500万人だったので実に2.6倍になったことになる。旅券（パスポート）取得者も全国で520万人、県内では７万２千人を数え、その数はやはり年々増えつづけている。円高の影響と様々な格安ツアーの登場で、海外旅行が経済的にしやすくなったこと、外国の情報がメディアを通して浸透し渡航意欲を刺激していること、また赴任・留学・居住等で外国に滞在する日本人が増えていることが理由としてあげられる。

### 多発する海外での事件・事故

海外渡航者が増加すれば、それだけ危険なことに遭遇する割合も増えてくる。

外務省の邦人保護課が調べた「海外邦人援護統計」によると、平成６年度の海外における事件・事故の総件数は10,812件で、過去最高の数字となっている。内訳は強盗・窃盗等の財産犯が5,579件、旅券・財布等の遺失が2,539件、事故・災害・疾病等が2,694件である。また、総人数は12,213人で死亡は343人（内犯罪被害16人）、負傷者336人（内犯罪被害119人）である。最近の傾向として注目すべき点は、日本人が外国で犯罪を犯す“犯罪加害件数”が激増していることである。なおこの統計は在外公館の報告に基づいているが、実際は事件・事故にあいながら届けていない人もいるので、実数はもっと多いと考えられる。

次に地域別にみてみると、被害件数・人数がともに多いのがアジアと欧州で、両地域あわせて全体の３分の２を占めている。死亡者が多いのはアジア、負傷者が多いのは欧州という統計も出ている。

その他、取扱件数の多い（つまり事件・事故の届け出を多く受け取った）在外公館は、上位から、タイ、韓国、フランス、ロンドン、ロサンゼルス、香港、ホノルル、ニューヨーク、イタリア、サンフランシスコとなっている。（国名は大使館、都市名は総領事館）。

### 豆情報その１　海外安全情報でお目当ての国を事前にチェック！

海外旅行者、海外滞在者が事前に渡航先の情報を得ることは、より安全にそして安心に過ごすために必要である。

ＴＩＡではパソコン通信による「海外安全ネットワーク」を利用し、①世界120カ国の安全のための基礎情報、②世界180都市の交通事情、③海外安全のための実用情報、④外務省の行政サービス、⑤地域別防犯の手引き、⑥最新渡航情報の各情報を入手し、希望者に提供している。詳しくはＴＩＡ（☎0286-21-0777）まで。

また、外務省邦人保護課が提供する「国別・海外安全情報」はＦＡＸによるサービスで、自宅にＦＡＸがあれば通話料のみで利用できる（ＦＡＸ機の受話器を取り03-3584-3300にダイヤルし、音声ガイダンスに従い操作する）。同課には「海外安全相談センター」もあり、電話や直接の相談を受けている（☎03-3581-3749）。出発前にぜひ利用してみよう！

## 旅行者へのアドバイス

ＪＴＢ宇都宮支店
海外旅行課長
**大伴哲夫さん**(45歳)

ここ数年円高の影響で海外旅行をする人が増えてきていますが、日本人が犯罪に巻き込まれるというケースも増加しています。外国旅行で主流を占めているのはパック旅行です。こうした団体旅行の最大の特色は「安心」「安全」ということです。仲間や添乗員がいるということが緊張感を和らげているようですが、これがまた短所ともなっています。常に団体の中で行動しているため、海外にいるという緊張感を失い注意散漫になります。そのためスリや強盗のターゲットとなる確率も非常に高いのです。

例えば、欧米各都市では日本のように日没後に街を歩くという習慣はなく、外出する際も車での移動が普通です。このような諸事情を知らないで旅行されるのが一番危険です。まず出発前に２～３冊行かれる国々の風俗習慣等について書かれた本を読まれると良いでしょう。

また、空港やホテルの出発・到着のロビーでの置き引き、盗難のトラブルがよく起こります。これは年配者に多いのですが、荷物をちょっとの間だけ他の人に任せて、その場から離れてしまうということです。自分の荷物は自分で責任を持って管理しましょう。空港に到着したら、もうそこは外国だと考えてください。それから、貴重品の入ったバッグ類に旅行社のタッグを付けるのは避けてください。スリはそのタッグを狙っているのです。その他特に欧米諸国のようにクレジットカードの普及している国を旅行される際は多額の現金を持ち歩かないで、なるべくカードで買い物し、財布を周囲に見せないようにすることが、スリから逃れる最上の手段です。こうした点を注意して楽しい旅行をなさってください。

## 窃盗による被害が圧倒的

それでは海外でどんな種類の事件・事故が発生しているのか見てみよう。まず、事件では、窃盗が圧倒的で平成６年度は５千件以上が発生している。これは事件・事故全体数の半数で、毎日約14件の被害があったことを意味する。主な手口は、①空港・ホテル等でちょっと目を離した隙に足元のバッグを盗まれる、②地下鉄やバスに乗ったときに財布をすられたり、クリーム状の液体を付けられ拭き取るために上着を脱いだ隙にすられる、③バイクに乗った２人組みの男にバッグをひったくられる、④外出中にホテルの自室に置いてあった貴重品を盗まれる、などである。

窃盗の次に多いのが強盗である。見知らぬ外国人に飲物を勧められ、飲んだら意識を失い気がついたら病院のベッドの上で所持品すべてをとられていたという事件が多発している。また、詐欺では“いかさま賭博（カード賭博）”で高額の金品を買わされすべて巻き上げられたり、偽物の宝石を買わされる被害が東南アジア地域に多い。その他、暴力バーとは知らずに誘われて入り、法外な料金を請求されるという事例や、外国滞在者が自宅で何者かに銃等で殺される事件も発生している。

事件の中には、日本人が加害者となる例として、麻薬の所持・使用や飲酒運転・スピード違反等の道路交通法違反による逮捕があげられる。前者は、他人から預かった荷物の中に麻薬が入っており、誰かの密告により逮捕されるというパターンが多い。国によっては最高刑が死刑という場合があるので、十分に注意する必要がある。

一方事故では、航空機・列車・船舶・自動車等の乗物による事故があげられる。特に多いのは自動車事故である。レンタカーで旅行中に交通事故にあうことが多く発生している。また、旅行中病気にかかる人も多数いる。日本には存在しないような病気が外国の一部の地域で発生していることもあるのでこれも要注意である。

その他、政情が不安定な国に滞在している日本人が、内戦やクーデターのため退避したという報告もある。

## どんなことに注意するのか

楽しく海外旅行・滞在をするためには、トラブルにあわないよう常にそれなりの意識を持っていなければならない。日本の生活習慣をそのまま外国へ持っていくと、思わぬ被害に遭うことがある。以下に海外旅行・滞在で特に注意すべき点をあげる。

(1)貴重品は確実に保管する→パスポート、航空券、トラベラーズチェック、必要以外の現金は持ち歩かず、ホテルのセーフティボックスに保管する（ただしパスポートの常時携帯を義務づけている国では、袋に入れてシャツ内に吊るしたりし、決してバッグ等に入れない）。現金等もなるべく分散して所持するのが良い。

(2)目立つ服装をしない→必要以外にスーツを着たり、ひと目で高価と思われるような服や肌が露出した服（女性）を着ると強盗・強姦の対象になりやすい。

(3)ホテル、空港、レストランでの盗難に要注意→この３つの場所では必ず何か貴重品を持っているので泥棒にとって恰好の場所である。ほんの数秒間目を離したすきに盗まれることもあるので、体から離さないことが肝心。

(4)路上でのひったくりに用心する→ショルダーバッグはナイフで切られてひったくられることが多い。歩くときは車道側を避けるのが良い。

(5)親しげに話しかけてくる人に容易に答えない→前述した睡眠薬強盗やいかさま賭博は、相手から話しかけてきて親しい素振りを示すが、信じないではっきり断る。

(6)麻薬には絶対手を出さない→これも前述したが、最高刑が死刑だということをお忘れなく。

(7)交通事故に気をつける→レンタカーを借りる際の保険は医療補償額が不十分の場合があることを留意する。渡航前に海外旅行傷害保険に加入しておくことも必要。

(8)トラブルに巻き込まれたら速やかに現地の警察に通報し、被害届けを出し受理書を受け取る。また、近くの日本大使館・総領事館へ知らせる。

## 豆情報その２　海外渡航者に朗報！10年有効の旅券（パスポート）登場

11月１日から旅券の有効期間が10年になった。ただし申請者の希望に応じ、従来の有効期間が５年の旅券も発給される（20歳未満の者には有効期間が５年の旅券が発給される）。また旅券の子の併記が廃止されるとともに、年少者に対する旅券手数料が減額される。

旅券の新規発給及び最発給手数料は、10年有効旅券が15,000円、５年有効旅券10,000円、10年有効旅券の再発給12,000円。12歳未満の場合、発給が5,000円で再発給が4,000円。

▶新しい10年旅券

▶従来の５年旅券

## 国際交流団体紹介

### 国際交流たみの会

地域の中で普段着でできる国際交流をめざして、３年半前に結成しました。佐野に住んでいる外国人と日本人が、お互いを理解しあい共に気持ち良く暮らせるようにしたいと考えています。

会員は日本人、外国人、学生、中（高）年と様々ですが、「たみの会」の特色は何と言っても幼児、小学生を抱えた女性たちの「子連れパワー」で、集まりには必ず小さい子供の姿があります。また、私も含め国際結婚のメンバーが多く、国籍は日本、韓国、台湾、タイ、フィリピン、イギリス、アメリカ、ブラジルと多国籍で、色々な面での情報交換や子育てをしながらの悩みの相談等に役立っています。

これまでの主な活動は、佐野周辺の外国の方に講師やゲストになっていただいてその国のお話を伺う「どんな国」シリーズ、また小学校高学年を対象にやはり外国の方から話を伺ったりゲームやクイズを楽しんだりする「子供のためのワールドウォッチング」シリーズがあります。あるいは家族ぐるみで参加の外国料理教室、ピクニックやパーティーも。今年の５月には「たみの会３周年シンポジウム」ということで、「お隣さんは外国人」というシンポジウムを開きました。また時には、オーバーステイの方も含め外国人から色々な相談を受けることもあります。その際にはできるだけお手伝いしています。

ところで「たみの会」の「たみ」は民族の「民」からとりました。これからも暮らしの中での外国人と日本人の「普通の人」としてのおつきあいを大切にしたいと考えています。(文：代表市川節子〒327 佐野市犬伏上町2240-10 ☎0283-22-1346)

▶昨年12月に開催した「世界の料理とウィンターパーティー」にはたくさんの人々が参加

## 知ってて得する なんでもQ&A

### 〔外国人が日本で就労するには？　パートⅠ〕

Q．最近、「不法就労者」という言葉を耳にしますが、どのような外国人が日本で合法的に働けるのでしょうか？

A．まず、外国人が入国する場合、上陸(入国）申請をします。入国審査官等が旅券の有効性、入国目的と滞在予定期間や査証(ビザ）の有無と有効性について審査し、法に定めた上陸条件に合致していれば旅券に「上陸許可証印」が押されます。そこには「在留資格」と「在留期間」が記入されています。不法就労者とは、就労が認められていない在留資格や、認められた在留期間を過ぎて就労している者を言います。なお、在留資格変更や在留期間更新は国内の地方入国管理局で手続きが出来ます。したがって、合法的に働くためには、就労が認められている査証を取得し、入国審査で許可された在留資格及び在留期間内で仕事をすることです。就労が認められている査証の区分については次号でお伝えします。

## 外国料理＆食料品 あんな店こんな店

### ブラジル商品販売店 「プロジェクト・ブラジル」

ここ数年、南米からの外国人が増加しているが、そんな人々の日常生活にお手伝いしているお店が「プロジェクト・ブラジル（三田パウロさん経営）」である。宇都宮市郊外の清原団地に位置し、近隣に在住するブラジル人、ペルー人の利用者が多いが、週末ともなれば大田原、黒磯、真岡等からもわざわざ買い物に訪れるそうだ。

店内には缶詰をメインとする各種食料品をはじめ、衣料品や週刊誌、新聞等が販売されている。これらの商品のほとんどはブラジルやペルーから日本の商社を通して輸入している。人気のあるのは、腸詰めやシュラスコ用の肉、ガラナジュースで、近くのパン屋さんにお願いして作ってもらっている特製パンも好評のようだ。この他にセルＣＤやブラジルのテレビ番組のレンタルビデオもあり、ブラジルの専門業者から週一度のペースで送られてくる。主にブラジルのニュースやドラマのビデオである。

またここはＫＤＤの代理店になっていて国際電話を利用したい外国人のための電話レンタルも行っている。その他ブラジルの薬等の輸入についても必要に応じて注文を受け付けている。

サービスの一環として、5000円以上買い物をした方にもれなくブラジルの宝くじを渡している。このくじの当選発表は、日本在住のブラジル人向けポルトガル語新聞「ＴＵＤＯ・ＢＥＭ」紙上で毎週発表を行っている。宝くじで一獲千金を夢見ているあなたには朗報では。

▷営業時間＝10:00～20:00(火～木・日)、9:00～22:00(金・土) ▷定休日＝月曜日 ▷住所＝宇都宮市清原台4-26-14 清原センター101 ▷電話＝0286-67-9648

▶輸入された様々な缶詰類

▶オーナーの三田パウロさん御夫妻

◀ブラジルの雑誌や新聞等もたくさんある

# 情報発信 地域の国際交流案内

☆アジア学院国際ボランティア・ダイヤル

アジアやアフリカ等から農業学生を招聘し教育・研修活動を行っているアジア学院では、学生一人ひとりにかかる教育研修費、渡航費及び衣食住のすべての費用を当学院が負担している。

「アジア学院国際ボランティア・ダイヤル」は、利用したＫＤＤ通話料の５％が自動的にアジア学院に寄付（資金協力）されるシステムで、開発途上国から大きな夢をもって来日した学生たちの研修を応援することになる。

国際電話を利用されている方で、この活動に協力したいという方は、「国際ボランティア・ダイアル・メンバー申込書」に明記し、ＫＤＤまたはアジア学院へ送付すること。なお登録料等の負担はない。詳しくはアジア学院まで（〒329-27那須郡西那須野町槻沢442-1☎0287-36-3111）。

☆青年海外協力隊秋募集

▷応募資格＝20歳から39歳まで　▷応募方法＝所定の願書（ＴＩＡで入手可能）を11月30日までに協力隊事務局へ提出　▷選考試験＝平成７年12月17日㈰宇都宮市総合コミュニティセンター　▷派遣期間＝２年間　▷待遇等＝現地生活費が支給され、労災保険等の補償制度あり。無職での参加の場合毎月定額が積み立てられ、帰国後に一括して支給される。現職参加の場合、休職等で所属先に身分を残したまま協力隊に参加できる場合もある　▷問い合わせ＝ＴＩＡ協力隊係（☎0286-21-0777）　※募集説明会が11月22日18:30～20:30宇都宮市のコンセーレ（☎0286-24-1417）で開催。

☆クリスマス交流会

国際交流団体のグローバル・グループは鹿沼市及び近隣地域に在住する外国人との交流を目的とした恒例のクリスマス交流会を開催する。

▷日時＝平成７年12月17日㈰10:00～12:00　▷鹿沼市商工会議所（☎0289-65-1111）　▷内容＝「世界の音楽を楽しもう！」アメリカ、オーストラリア、コロンビア、中国、ペルー、パキスタン、メキシコ、日本など各国の歌と踊り　▷入場料＝無料　▷連絡先＝山本和子☎0289-76-3393または内田葉子☎0289-65-4794

☆第７回日本赤十字社「海外たすけあい」

栃木県赤十字文化奉仕団他の主催によるイベント「海外たすけあい」が下記のとおり開催される。

▷日時＝平成７年12月３日㈰13:30～15:30　▷場所＝ＮＨＫ宇都宮放送局スクエア・ジュウ　▷内容＝栃木県に在住する外国人の参加による文化紹介、ＮＨＫキャスター渡辺光一のトークショー、ジャズシンガー大川公一、スウィング・トワイライト・オーケストラによる演奏、ＮＨＫ宇都宮放送局駐車場で無農薬野菜販売等　▷入場料＝無料　▷連絡先＝浅野薫子☎0286-34-7059　※なお、当日会場にて「海外たすけあい」募金を行う。

## ＴＩＡ日誌

1995年10月１日～1995年11月30日

10/3～4　北関東三県国際交流協会連絡会議（茨城県）
10/9　栃木県日仏青少年短期研修事業第２回実施委員会（自治会館）
10/11～19　US-JAPAN EXPO'95参加事業（ロサンゼルス）
10/16～28　栃木県日仏青少年短期研修事業フランス高校生来県
10/18　青年海外協力隊秋募集説明会（宇都宮市）
10/25～11/1　中国浙江省雑技芸術団及びフランス民族舞踊団来県
10/26　国民文化祭前夜祭（宇都宮市）
10/27　国民文化祭パレード・開会式・オープニングフェスティバル（宇都宮市）
11/1　青年海外協力隊秋募集説明会（小山市）
11/5　国民文化祭閉会式・グランドフィナーレ（宇都宮市）
11/10　国際交流教養講座（プラザインくろかみ）
11/12　第２回国連英検一次試験（宇都宮市）
11/13　青年海外協力隊秋募集説明会（足利市）
11/22　青年海外協力隊秋募集説明会（宇都宮市）
11/23　とちぎインターナショナルフェスティバル'95（宇都宮市あけぼの公園）
11/30　海外技術研修員・受入研修機関担当者合同打合せ会（宇都宮市）


SINCE 1887

しんこきゅう
時代とともに新呼吸

朝陽堂印刷興業株式会社
〒320 宇都宮市不動前1-3-35 TEL0286(34)3421 FAX0286(51)1280

印刷からビデオ制作まで

北関東印刷業界初のオンデマンド印刷機の導入により、
お客様へ1冊からでも素早いお届けが可能になりました。

株式会社松井ピ・テ・オ・印刷
〒321宇都宮市平出町4287-7
TEL 0286-62-2511(代) FAX 0286-62-4278

# TIA Information Corner

☆第Ⅲ期日本語講座開講
▷対象＝在県外国人　▷内容＝中級程度
▷期間＝平成７年11月22日～平成８年３月26日（毎週水曜日）18:00～20:00（全16回）　▷場所＝ＴＩＡ３階研修室　▷定員＝20名　▷受講料＝無料（ただしテキスト代は実費）　▷申込み＝ＴＩＡ日本語講座係☎0286-21-0777

T.I.A. "Japanese Class" for foreigners

The intermediate Japanese Class for foreign residents in Tochigi prefecture will be held as follows;
Date: From November 22, 1995 to March 26, 1996. (Every Wednesday)
Time: 18:00 ～ 20:00
Place: The Tochigi International Association (3 fl.)
We accept up to 20 students. Tuition fee is free, however, the students have to buy a textbook.
※For more information, all T.I.A. at 0286-21-0777.

☆外国人のための精神保健相談

ＴＩＡでは外国人の精神保健相談の増加に対応するため、栃木県精神保健福祉センターの協力により、専門家による相談を行っている。▷日時＝毎月第１・３火曜日13:30～16:00　▷場所＝ＴＩＡ研修室　▷対応言語＝日本語・英語・ポルトガル語・スペイン語・中国語・ペルシャ語　▷面接相談のため希望者は予約が必要　▷予約先＝ＴＩＡ相談員・林または石川まで☎0286-27-3399（直通）

MENTAL HEALTH COUNSELLING SERVICE

The Tochigi International Association has begun to offer a mental health counselling service for foreign residents.
Special counsellers from the Tochigi Mental Health Center are offering free consultation with the help of interpreters.
Date: every 1st and 3rd Tuesday from 1:30pm ～ 4:00pm
Available Languages: Japanese, English, Portuguese, Spanish, Chinese, Farsi.
Location: Third floor office of the TIA
Counsellers: the staff of the Tochigi Mental Health Center.
※We can only accept one client at a time, so please contact us to make a reservation.
Tochigi International Association
1-2-16 Showa Utsunomiya
Tochigi-ken Jichi-kaikan 1f.
☎ 0286-27-3399

CONSULTAS PSICOLOGICAS

Ultimamente se han aumentado las consultas sobre problemas psicológicos. Por esta razón, empezamos a dar consultas con profesionales de este campo con la colabo ración del Centro de Salud Mental de Tochigui.
Fecha: primer y tercer MARTES de cada mes
Horario: de 13:30 p.m. a 16:00 p.m.
Idiomas: Japonés, Inglés, Portugués, Español, Chino, Persia
Lugar: Tercer Piso de TIA
Consultores: Profesionales del Centro de Salud Mental de Tochigi
※Llamar con anticipación para hacer la reservación de la consulta a la:
Tochigi International Association (TIA)
1-2-6 Showa, Utsunomiya-shi
Tochigi - ken Yichi - kaikan primer piso
Teléfono: 0286-27-3399

CONSULTAS PSICOLÓGICAS

Como ultimamente tem aumentado as consultas sobre os problemas psicológicos, começamos a dar consultas com profissionais desta área com a colaboração do Centro de Saúde Mental de Tochigi.
Data: toda primeira e terceira TERÇA-FEIRA do mês
Horário: das 13:30 às 16:00 horas
Idiomas: Japonês, Inglês, Português, Espanhol, Chinês, Persa
Local: 3o. andar da TIA
Consultores: especialistas do Centro de Saúde Mental de Tochigi
※Marque a consulta com antecedência na:
Tochigi International Association (TIA)
1-2-16 Showa, Utsunomiya-shi
Tochigi-ken Jichi-kaikan 1o. andar
Telefone: 0286-27-3399

财团法人栃木县国际交流协会为外国人开始了心理卫生专家辅导服务！
最近，就心理卫生方面来讯问的外国人有所增加，为了配合各位外国人士的需求，我们开始了由专家进行心理辅导服务。
服务时间：每月第一、第三周星期二，下午１点半至四点
相应语言：日语、英语、葡萄牙语、西班牙语、中国语、波斯语
服务地点：财团法人栃木县国际交流协会研修室（栃木县自治会馆３楼）
承担单位：栃木县精神保健中心
※因为本协会采用面商方式而每次人数有限，所以有意者先得预约。
预约地址：
财团法人栃木县国际交流协会
宇都宮市昭和1-2-16
栃木县自治会馆１楼
预约专线：0286-27-3399

انجمن بین المللی این انجمن تاکنون خدمت اطلاع رسانی برای افراد خارجی یک روز در نظر گرفته شده است که با کمک مرکز روح و بیماری روان از متخصص مشاوره انجام می شود

تاریخ و ساعات مشاوره — اول و سوم سه شنبه هر ماه
از ساعت ۱:۳۰ بعدازظهر الی ۴ بعدازظهر

زبان مشاوره — ژاپنی، انگلیسی، پرتغالی، اسپانیولی، چینی و فارسی

محل مشاوره — دفتر انجمن بین المللی توچیگی
استان توچیگی جی چی - کای کان طبقه سوم

متخصص مشاوره — کارمند مرکز روح و بیماری روان

※ اشخاصی که استفاده از این خدمات هستند پیش از تشریف فرمائی لطفا تلفنی با مسئول برقرار کنند

محل رزرو — انجمن بین المللی اوتسونومیاشی شووا ۱۶-۲-۱
توچیگی کن جی چی کای کان طبقه اول

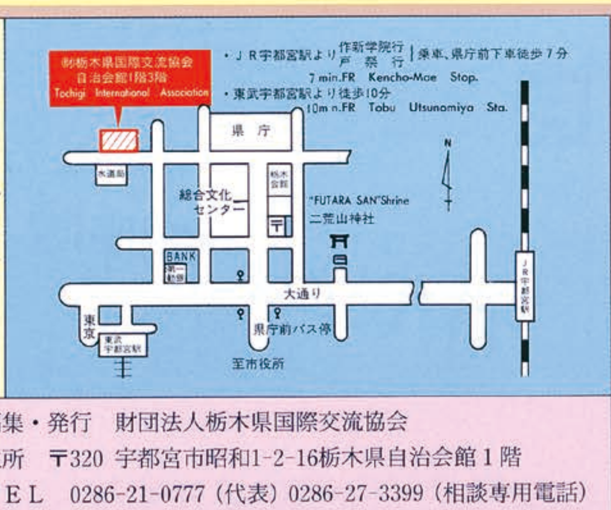
تلفن مخصوص استفاده برای مشاوره ۳۳۹۹ - ۲۷ - ۰۲۸۶

編集後記

○「第10回国民文化祭・とちぎ95」が開催された。中国浙江省の雑技団、フランス・ヴォークリューズ県の民族舞踊団の受入れをTIAが担当した。いろいろあったが何とか公演は成功した。注目の敦煌軟体美人の演技に観客が酔い、プロヴァンス舞踊に文化の香りを感じた。
○人口３千人、南仏の小さな村からやってきた民族舞踊団のほとんどが18歳以下。公演が終わると年齢相応の無邪気な子供に逆もどり。自分たちの村にはない習慣（日本では時間を守るのは当たり前！）にとまどいながらも、日本滞在を楽しんで帰国した。

※財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人（寄附金の損金算入等の課税特例措置）の認定を受けました。つきましては、当協会の事業にご賛同下さる各企業、団体、ほか皆さまからのご出捐をお願いしております。

TIAご案内図





編集・発行　財団法人栃木県国際交流協会
住所　〒320 宇都宮市昭和1-2-16栃木県自治会館１階
ＴＥＬ　0286-21-0777（代表）0286-27-3399（相談専用電話）
ＦＡＸ　0286-21-0951
業務時間　8:30～17:15土曜・日曜・祝祭日・年末年始は休業